

公表様式

1 基本情報					
施設名又はグループ名		指定管理者名及び団体概要			
多摩部の公園グループ		(指定管理者名) 多摩部の公園パートナーズ (団体の概要) 代表者：西武造園株式会社			
指定期間		構成員：特定非営利活動法人 NPO birth、ミズノスポーツサービス株式会社			
R5.4.1～R10.3.1（5年間）		一般社団法人 防災教育普及協会			
2 施設名		3 収支(単位:千円)			
陵南公園 小宮公園 滝山公園 大戸緑地			令和6年度	令和5年度	令和4年度
		項目	金額	金額	金額
	収入	計	375,274	288,324	302,699
	内訳	指定管理料	375,274	288,324	302,683
		利用料金			
		その他収入			16
	支出	計	341,439	288,324	302,699
	収支差		33,835	0	0
公園別支出額					
陵南公園					92,707
小宮公園					185,266
滝山公園					30,230
大戸緑地					33,236
					341,439
4 管理運営の概要					
これまで当公園グループの指定管理者として培ってきた地域との信頼関係、ノウハウを活かし、各公園の個性、ポテンシャルをさらに掘り起こし、磨き上げ、新たな価値を生み、今まで以上に地域とともに成長する公園づくり「GrowingParks」を進め、地域全体の「成長と成熟」を牽引する取組みを実施。 陵南公園では、多世代型ヘルシーパークとして更なる発展へ。分園遊具広場の遊具がユニバーサルデザイン遊具へ改修。障害の有無に関わらずみんなが楽しく遊べる場所へ。誰でも気軽に運動を楽しむことができる「スポーツチャレンジキャラバン」など地域住民の健康増進に貢献。 小宮公園では、【自然とふれあい、緑の力で地域のWell-beingを創る】をテーマとし、「初夏＊カフェDay」、「冬＊カフェDay」、高齢者の「生きる活力」を引き出す「青空体操@小宮公園」の拡大版として「新緑フェス」「あきいろフェス」を開催。最小限の利用制限でナラ枯れ伐採を行い、雑木林マイスター講座にて森の再生プロジェクトを始動した。 滝山公園では、地域連携の更なる拡充で滝山城の魅力伝えるべく、春の「桜まつり」に加え、秋の「滝山城CAFE」を開催。「遺構を見せる維持管理」「ナラ枯れ伐採」を計画的に実施し、魅力発信するとともに来園者の安全を確保した。 大戸緑地では、森の魅力を活かした自然体験イベント「春開きDAY」を地域団体と共に実施し、里山の自然を楽しむプログラムで自然体験の機会を提供。					
5 管理状況					
①維持管理					
【1.適切な維持管理を行うための取り組み】 全公園で専門家による定期施設点検、樹木診断、「パークモニタリングアプリ」を活用した不具合箇所のデータベース化、予防保全システムの活用を継続し、予防保全に努めた。陵南公園では、さくら並木のサクラ3本と川沿いのサクラ2本の土壌改良作業を実施。サクラの健全な生育を促した。小宮公園では台風10号の影響を受けて住宅前広場、ひよどり沢にて倒木が発生。フェンスやパーゴラ、木道が被害にあった。また、ボランティアが4年かけて育てたハンノキ苗木の真上2mで横になるという状況での難しい復旧作業となった。入念な打合せと作業により施設への二次被害なく倒木を処置することができ、ボランティアからも「こんなに丁寧にやってもらい、感謝しかない」との言葉をもらった。丘陵地公園では、勾配のきつい箇所の樹木作業にスパイダーリフトを採用し、安全に作業ができた。 【2.事故、自然災害や感染症等を未然防ぐための安全対策、発生時の対応】 大量発生したナラ枯れに対し、園路沿いを中心にGPS調査を実施、4公園計1800本以上の枯損木確認。危険園路は速やかに閉鎖。その後園路単位で伐採、共用再開することで、安全確保を最小限の利用制限で実現。処理した枯損木は800本以上。陵南公園では、花壇ボランティアであるガーデンサポーター向けに安全管理講習を初実施。熱中症、蜂やチャドクガなどの危険生物などの予防や対処法、ボイゾンリムーバーの使用方法について解説した。参加者からは積極的に質問が挙がり精力的に講習に臨む姿がみられた。また、「このような講習は初めてだったので勉強になった」「初心を忘れずに慣れている作業も改めて注意しようと思った」「ボイゾンリムーバーは初めて知った。使用方法も実際に体験できたので分かりやすくて良かった」などの声を頂き、活動における安全管理の意識の向上に繋げることができた。 【3.要望対応や施設補修、施設改良への取り組み】 利用者や近隣住民から広く意見を収集し、PDCAにより迅速かつ適切に処置。陵南公園では、出入口の段差解消や石畳みの補修、分園トイレのベビーベッド設置、女子トイレの目隠し設置を実施し安全な園内環境の提供に繋がれた。小宮公園では、ひよどりの小道林床整備（4,800㎡）時にラジコン式草刈機を使用し、滑落による怪我のリスクが大きい急斜面や高所での草刈りが安全に行えた。大戸緑地では、駐車場への木橋の木部交換を実施。防蟻防腐処理を施した木材を使用し施設の長寿命化とともに転倒防止のスリットを入れることで安全な施設提供ができた。各公園の要望対応や施設改良を迅速に行うことで品質向上に繋がれた。 【4.丘陵地特性をふまえた植生管理】 小宮公園では、保全対象地を①沢沿いの半日影のエリア、②斜面地の明るい雑木林に大きく分けてホットスポットを設定。特性にあった保全を実施。大被害を受けたナラ枯れに対し、これを分析、対処を考える「雑木林マイスター講座・森の再生」を開催し、この参加者、既存ボランティアで「雑木林グループ」を始動させ、①半日陰の森のパイオニア種移植などを実施し、森の再生促進を図った。また花の見どころ作りのための協働保全地区22か所を継続して運営。ワダソウ、ヤマトラノオなどの開花数は2年間で倍近くに増加。滝山公園では、複雑な山城地形に対し、スパイダーリフト、ラジコン式草刈機など最新機材を導入。安全で効率的な植生管理を実現。ナラ枯れ処理、「遺構を見せる維持管理」等、公園特性に対応した維持管理を行い、地域の各主体などから多くの評価を得た。 【5.公園が持つ緑の特性を一層引き出すための新たな維持管理の考え】 グリーンインフラの視点を踏まえ、各公園の特性を活かした風景を保全・創出する維持管理を実施。継続的な自動芝刈機の稼働を実施。芝を一定の刈高に保つことができ、草刈回数が減少することで作業時のリスクが軽減できた。滝山公園では、山の神からの眺望とともに檜原村方面をより見渡せるよう支障木伐採を実施。大戸緑地では、段木入地区のカタクリの群生地地の景観と牛田地区のユクノキ周辺整備について意見があり、カタクリの芽が出る前に下草刈りと落葉清掃を実施。ユクノキ周辺はササヤアオキを除去し、樹木の株元が確認できるように改善し樹木診断を実施した。					

②利用者への対応
（１）質の高いサービスを提供するための具体的な取組 ・公園の様子やイベント情報をSNS（Facebook、Instagram）を活用し、タイムリーに情報発信した。ドローン動画による映像も作成し、サービスセンターなどでも情報が得られるようにした。また、様々なニーズやターゲットに合わせたプログラムを提供し、自治体や地域連携を発展させることで満足度の高いサービスを提供 （２）利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法 ・苦情要望は、完了まで毎月確認。陵南公園の分園トイレにベビーベッドを設置、小宮公園の雑木林内の木道補修・山道階段の設置、滝山公園の越境樹木の伐採及びセットバック、大戸緑地の植物保全などの対応等において地域の声を生かした。 （３）都民協働や地域コミュニティとの連携による公園の魅力や地域の価値の向上につながる取組 ・都民や地域との連携による公園づくりを進める 専門スタッフ「パークコーディネーター」が、これまで築いてきた協働・連携の実績や多摩地域に関わる方々との広域的な連携を継承・発展させ、多様な主体とのパートナーシップで、地域とともに成長する公園づくりに取組んだ。 小宮公園では近隣の子ども・若者育成支援センター（旧児童館）3つと共催でこどもシティを継続開催。公園からは、園内の発生材を使用した薪割り、割った薪をたき火にくべるプログラムを提供。要所でレンジャーがサステナブルエネルギーについて説明。楽しみだけでなく、学びも提供することができた。 滝山公園では八王子市文化財課、道の駅八王子と新たに連携し「滝山城カフェ2024」を成功させるなど地域連携を拡充。またNPO法人滝山城跡群・自然と歴史を守る会と協力し「自然と歴史のガイドウォーク」を当イベントで初実施、自然だけでなく歴史プログラムの充実を図った。参加者だけでなく、歴史ガイドの方からも好評の声をいただいた 陵南公園では、地域の秋の2大祭りである「子ども祭り」「いちょう祭り」の開催を継続して協力。特に「いちょう祭り」ではリニューアルした分園遊具広場での実施に際し、主催団体と綿密に連携し、開催を支えた。また、保全面では地域の環境団体と初連携し、公園の隣を流れる南浅川にて生物調査を初実施。地域団体と新たな繋がりを強めながら、参加者に身近な自然の大切さを伝え、環境教育の普及啓発を行うことができた。 大戸緑地では地域イベントである「ずしまちいち」「大地沢自然交流フェスティバル」に継続参加。地域との繋がりながら、町田市にある都立公園として里山の自然の魅力や、公園の取り組みを幅広く伝えることができた。 （４）公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案 陵南公園のイベントパークライブラリーは、八王子市中央図書館に加え、新たに八王子冒険遊び場の会と協力し、会場近くのヒマラヤスギ広場にて小学生までの子供も楽しめるように出張ブレイパークを展開しプログラムを拡張。未就園児のみならず小学生までの子供たちが読書や体を動かすことが出来る機会を提供し、公園の自然の中で読書を通して親子の関係を深めることによる「心」、遊びの中で子どもたちが自由に自分で考えながら体を動かして遊ぶことによる「体」と、心身の健康増進に貢献することができた。また、イベント毎に雰囲気に合わせて地元のキッチンカーや近隣店舗のパン屋にイベントへの出店を依頼し、飲食を提供。参加者や来園者にゆったりとしたカフェ空間を創出し、満足度の向上に貢献した。 小宮公園では「初夏＊カフェday」「冬＊カフェday」に1291人が参加。たき火、冒険遊び場のロープ渡り、落ち葉ブルなど様々な遊び場、プログラムで親子連れに大人気だった。 滝山公園では忍者修行に見立てた運動プログラム「たきやま忍者学校」を実施。公園特性に合わせ、子どもたちの「体力の維持向上」とパークレンジャーによる「史跡解説」を盛り込んだ内容となっている。楽しく体を動かす事に加え、城跡の歴史や園内に生息する動物の知識も伝える事ができた。保護者からも大変好評の声をいただいた 大戸緑地では大戸緑地とその周辺の植生を観察・考察していくプログラム「植生の履歴をひも解く」を日本を代表とする植物写真家のいがりまさし氏を講師として招き実施。専門的な講義やフィールドワークのため自然に慣れた参加者に、より自然のことについて学びたいというニーズに応えることのできる内容を提供し、好評を得た。 【イベント以外】 4月～翌年3月にかけて、パークマルシェを計16回実施。GWなど来園者が多くなる機会に合わせて、自然に囲まれた園内で来園者に季節に合わせた飲食物の提供や、ゆったりと飲食を楽しめる機会とカフェ空間を提供。昨年の参加者からの飲食へのニーズに対応し、来園者の満足度向上につなげることができた。 陵南公園では新たな連携を生んだ進化したヘルシーパークの取組みを推進。小宮公園では高齢者包括支援センター、地域病院、パークレンジャーが3者連携で、高齢者の「生きる活力」を引き出す「青空体操@小宮公園」では参加者が倍増し、秋には規模を拡大した特別版も実施。大戸緑地では、森の魅力を活かした自然体験イベント「春開きDAY」を地域とともに企画運営 （５）東京2020大会レガシーを継承する取組 ・スポーツへの興味・関心を持つきっかけとして「のびのび☆チャレンジキャラバン」「さわやかノルディックウォーク」などを開催。スポーツ・健康づくり習慣の高まりを継続する取組みを実施

6 利用者アンケート結果						
実施方法：						
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応	施設ごとの分析・評価
陵南公園	4.7	4.5	4.6	4.5	4.6	ユニバーサルデザイン遊具が設置され、利用者のニーズをしっかりと把握し、応えることができたことが高評価につながった
小宮公園	4.7	4.5	4.5	4.4	4.7	イベントを通して幅広い世代へ自然に触れる場を提供できたことが高評価につながった
滝山公園	4.5	4.4	4.6	4.5	4.7	計画的な草刈りを実施し、遺構をこれまで以上に楽しんで頂けた事が高評価につながった
大戸緑地	4.5	4.4	4.5	4.1	4.6	豊かな自然と施設管理を適切に行い、環境を生かしたプログラムの提供が高評価につながった
グループ平均	4.6	4.5	4.6	4.4	4.7	グループ全体として総合満足度が4.6以上と、日々の様々な取組が総じて高い評価を得ることとなった。植栽管理では公園ごとの特徴を生かした計画的な管理を行い、スタッフの対応では、接遇研修などを実施し、スキルアップをしたことが高評価へと繋がった。また、イベント運営では地域の様々な主体と連携したイベント、地域住民の健康促進や親子や子どもを対象としたスポーツイベントを実施することで地域一帯での利用者満足や公園を核とする地域の価値向上に貢献することができた。

7 入園者数の状況（単位：人）		
施設名	当該年度	分析
陵南公園	530,902	多世代型交流イベント「ここからSmile FES」地域住民の健康増進を図る「さわやかノルディック・ウォーキング」を昨年に引続き開催。地域施設や地域団体との連携を発展させることができた。また、秋に行われた地域イベント「八王子いちょう祭り」では公園プログラムを実施し、緑の空間を利用した空間【陵南ピクニックガーデン】を展開。利用者にリラックスできる場を提供できた。10月にはユニバーサルデザイン遊具が設置され、オープニングイベントを開催。大好評で定期的な開催を望む声が多かった。多くの利用者に公園の魅力を発信することができた。冬には希少種の保全を目的とした、親子参加型人気イベント「生き物レスキューDAY」を継続開催。また、季節の情報発信など積極的にSNSで発信、多くの利用者に公園の魅力を発信することができた。
小宮公園	246,017	昨年度と比較すると、利用者は年間を通して減少しているが、世代を問わず楽しめる季節イベント「四季＊はなワードラリー」や「花摘みイベント」は好評でリピーターが多く、今年度も多数の参加があった。また、高齢者を対象としたイベント「青空体操」の拡大版として「あさいろフェス」も開催したことでイベント参加者は増加している。また、今年度はInstagramの登録者数も増加。公園のイベント情報や自然情報を細目に発信し、新規来園につなげた。
滝山公園	58,812	昨年度と比較すると、利用者は年間を通して減少しているが、今年度は「滝山城跡桜まつり」を共催で開催、2,300人の参加があり大変賑わいを見せた。また、秋恒例となった地域連携イベント「滝山城カフェ」や、子どもたちの体力向上を目的としたスポーツイベント「忍者になって滝山城跡をたのしもう！」を継続して実施していることで公園の魅力が来園者に伝わり、歴史ファンのみならず、散歩やウォーキングなど、イベント時以外の利用者も増加した。
大戸緑地	2,908	緑地の新たな魅力を体験する「はじめてノルディックウォーキング」、深山の魅力を体験する「大戸春開きDAY」を開催。近隣施設と地域団体と連携を行い、公園の魅力を伝えることができた。また、地域の緑地活用イベント「ずしまちいち」に出展し、公園のPRを行った。周辺マップなどを配布することにより、知名度アップに貢献できた。SNSでの季節の情報発信、センサーカメラにて撮影された野生動物の映像、ドローンにて上空から撮影した緑地の動画などを積極的に発信、大戸緑地の魅力を幅広く伝えることができた。
合 計	838,639	

都立 陵南公園



＜目標と取組方針(陵南公園マネジメントプランより)＞

- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
- ・自然と触れ合える場となる都立公園
- ・スポーツによる健康づくりの場となる都立公園
- ・こどもたちの健やかな成長の場となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

健康
スポーツの拠点

【所在地】八王子市
【開園面積】6.0ha

■《健康・スポーツの拠点》人も緑も地域も元気になる交流型ヘルシーパーク

1

多世代型ヘルシーパークとして更なる発展へ！



身体のヘルシー

分園遊具広場の遊具がユニバーサルデザイン遊具へ改修！
障害の有無に関わらずみんなが楽しく遊べる場所へ！



■公園マップも新規作成！かわいいデザインで新しくなった遊具を紹介！



Play For All！「みんなと遊ぼう！」

■お披露目イベントも開催！
ミズノプレイヤーが活躍しにチャレンジ！みんなと一緒に楽しく遊べた！

■来園して遊んでくれた子どもたちに一番楽しかった遊具をアンケート！

地域の約30団体と連携！協賛企業も入り更に発展した「第3回ここからSmile FES」

■「健康・フレイル予防」「伝承」「発見」をコンセプトに「孤の解消」を目指す地域と連携した体験型多世代交流イベントが、今年は冬季に初開催！多くの地域住民の健康増進に貢献し、地域と成長しながらヘルシーパーク事業を更に推進！



■出店団体が昨年より更に増加！発展した地域連携！



冬季初開催！のべ850人が参加!!

■プログラムも多世代が楽しめるプログラムを拡充！協賛が入ったことにより、物品の提供や広報の協力などイベントの質の向上に貢献！

スポーツコーディネーターが地域住民の健康に貢献！ 今年は野球場を活用し、様々なプログラムを展開！

■スポーツチャレンジキャラバン



■様々な運動を誰でも気軽に楽しむことができる「スポーツチャレンジキャラバン」を野球場にて開催！親子ヨガやノルディックウォーキングなどの体験教室や、その場で参加できる運動あそびプログラムで、老若男女延べ135名がスポーツにチャレンジ!!

■走り方・親子・はらっぱスポーツ教室



■幼児・小学生を対象とした「走り方教室」
幼児対象の「はらっぱスポーツ教室」
未就園児親子対象の「親子スポーツ教室」を開催！

陵南公園でココロもカラダも元気になろう！

陵南公園は、子どもたちの健やかな成長を「スポーツ」で応援します！

2 心を癒したり、さまざまな交流の場としての機会を地域住民に提供！



心のヘルシー

地域の図書館と連携しパークライブラリー継続開催！出張プレーパークも併せて実施し、子育て世代の親子に読書や遊びで交流する機会を提供！



■公園の緑の中で絵本を読みながら親子で交流！司書さんの読み聞かせも大人気でした！



■出張プレーパーク初実施！遊びの中で子供たちが自由に自分で考えながら体を動かして遊ぶ7つのプログラムを展開！



■花壇ボランティア

図書館との新たな連携！
図書館内の「フリースペース」で公園PR！

初

■夏休み、春休みに合わせて図書館内に公園の動植物を紹介するパネルや机、椅子をお貸して公園PRエリアを展開！図書館との連携をより強めた！



■公園ボランティアである「ガーデンサポーター」が今年度も大活躍！「いつもきれいな花壇に癒されます」など、たくさんの好評の声をいただき、来園者に心安らぐ癒しの空間を届けた！

3 身近な自然と地域を繋ぐ環境教育のフィールドとして貢献！



生態系のヘルシー

■生き物レスキューDAY

■じゃぶじゃぶ池のカエル救出を2月と3月に実施！
地域の生きものを地域の子どもたちが守る！

■親子南浅川生物調査イベント

■地域保全団体と協働で親子向けの生物調査イベントを実施！



4

公園の魅力向上に繋がる維持管理

■分園トイレ改修



■女子トイレに目隠し・ベビーベッドを設置。防犯、快適性の向上に繋がった



■ユニバーサルデザイン遊具広場にリニューアル後のニーズに答える改修を実施

■サクラ土壌改良



エアレーション作業中



4月の開花の様子

■インターロッキング補修工事後にエアレーション及び土壌改良を実施！サクラの保護生育に取り組んだ

その他の取組み

- ・七夕など季節のセルフプログラムを実施(参加者:のべ553人)
- ・地域防災イベント「防災フェスタ」に出展
- ・八王子環境ネットワークに継続参加
- ・あったらいい企画「さわやかノルディック・ウォーク」継続開催(参加者:のべ80人)

都立小宮公園



- <目標と取組方針(小宮公園マネジメントプランより)>
- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
 - ・安全・快適な公園づくりを行う都立公園
 - ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
 - ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する公園
 - ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
 - ・こどもたちの健やかな成長の場となる都立公園
 - ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

環境教育
地域連携の拠点

【所在地】八王子
【開園面積】25.1ha

■《環境教育・都民協働の拠点》地域と連携し、自然を学び体験できる公園

1

自然とのふれあい、緑の力で地域のWell-beingを創る

■初夏&冬＊カフェDAY ☀️ 身体のヘルシー 🌸 心のヘルシー

■大人気イベント「初夏＊カフェDay」「冬＊カフェDay」をのべ4日間開催。「落ち葉プール」「ハンモックコーナー」、自然関係の児童書を揃えた「ブックコーナー」、イネ科植物で草束を作る「スワッグ作り」、「レンジャーガイドウォーク」など、緑の中、大人も子どもも心地よく、楽しく過ごせる場を提供。

親子・多世代



参加人数 1291人

新緑に囲まれた「初夏＊カフェDay」会場の様子（ハンモックコーナーなど）



ブックコーナーで竖琴演奏と
合わせ読み聞かせ



野草をたっぷり使ったスワッグ
（草束の飾り）づくり



盛りだくさんのプログラムを用意



地域の冒険遊び場の会とコラボ 緑いっぱいのロープ渡り



ソフトチャンバラ

■青空体操@小宮公園 +新緑フェス・あきいろフェス

☀️ 身体のヘルシー 🌸 心のヘルシー

シニア

■八王子市高齢者サポートセンターが健康サポート、地域の大型病院が理学療法士を派遣し、フレイル（要介護）予防体操を指導。その後パークレンジャーがガイドウォークで自然の魅力を伝え、生きる活力UP!！スペシャルイベント「あきいろフェス」も大盛況！

参加人数 539人



フレイル（要介護）予防体操で気持ちよく体を動かす



仲間との交流、ボランティアにも参加



パークレンジャーと
五感で自然体験

2

ナラ枯れ伐採500本⇒雑木林講座開催⇒協働で森の再生開始

■最小限の利用制限で公園の安全を確保。ナラ枯れ500本伐採。

生態系のヘルシー

- GPSを用い、被害を徹底調査。危険園路は速やかに閉鎖し、利用者の安全確保の上、閉鎖園路単位で伐採。利用制限を最小限にしつつ500本以上を伐採。



ナラ枯れ調査GPS位置図



危険箇所は速やかに閉鎖



閉鎖箇所単位で伐採、復旧

■雑木林マイスター講座開催 ボランティア雑木林グループ始動

- 「ナラ枯れと森の再生」をテーマに雑木林マイスター講座を開講、26人が参加。ナラ枯れ後にどんな森を創るか？をテーマにワークショップも実施、あらたにボランティア「雑木林グループ」ができ、定期的な保全活動を開始。



公園の歴史、ナラ枯れ状況について学ぶ



ワークショップで森のポテンシャル抽出



パイオニア種移植で森の再生促進

3

地域の環境教育拠点として、学びと体験を提供

小学生・多世代

■総合学習受入れ ■児童館共催こどもシティ ■夜の観察会



- 近隣小学校の総合学習で609人受け入れ。感性、学び、保全作業等プログラムを提供



- 子どもたちが働く仮想都市を地域の学生、市民がサポート。公園は薪割コーナーを設置。里山の持続可能なエネルギーを体験。494人参加。



- 猛暑で昼間の野外活動ができない夏休みの子どもたちのために、「夜の自然観察会」を初開催。セミの羽化、クツワムシの合唱に感動！

4

ニホンアカガエル産卵18卵塊、ヤマアカガエル100以上確認。！園内絶滅だった2種完全復活。里山生態系の多様性が高まる。

生態系のヘルシー

- 50年以上絶滅状態だったニホンアカガエル、ヤマアカガエルを地域遺伝子で復活。産卵地整備、アライグマ除けネット設置と駆除などで順調に個体数が増加。特にヤマアカガエルは、8年目にして、当初1卵塊を導入したものが100にまで増加した。これに伴い、フクロウやキツネがセンサーカメラに写るなど、生態系全体の多様性も着実に向上している



両生類保全区で確認されたニホンアカガエル成体



保全区のアライグマ除けネットを補修するパークレンジャー

その他の取組み

- ・ユニバーサル研修
- ・パークスキャン
- ・ランドスケープチェック
- ・犬のマナーアップキャンペーン
- ・防災クイズイベント
- ・オリジナルグッズの販売
- ・原っぱスポーツ教室・走り方教室
- ・野鳥マナーアップキャンペーン

都立滝山公園

歴史伝承の拠点



＜目標と取組方針（滝山公園マネジメントプランより）＞

- ・安全・快適な公園づくりを行う都立公園
- ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
- ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
- ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
- ・独自の魅力づくりに取り組む都立公園
- ・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

【所在地】八王子市
【開園面積】31.2ha

■《歴史体験拠点》地域提案型パークマネジメントを実現する山城公園

1 地域連携のさらなる拡充で、滝山城の魅力を伝える

■秋の滝山城カフェ 地域機関（文化財課・道の駅）と初連携

■滝山城跡ではこれまで様々な主体が開催するイベントがバラバラに行われてきたが、「滝山観光まちおこし実行委員会」に加え、「道の駅八王子滝山」と「八王子市文化財課」のガイドイベントとも共催し、地域一丸のイベント「滝山城CAFE2024」を実現。歴史ファンだけではなく、ハイキング利照射なども美しい秋の自然と、カフェを満喫されていた。今後は春の「桜まつり」、秋の「滝山城CAFE」を滝山の2大イベントとしていこうと、関係者の意気も上がっている。



ケータリング・カフェコーナー



歴史と自然のガイドウォーク



自然素材クラフト体験



甲冑試着体験

【参加者の声】

- ・このイベント（滝山城CAFE）に参加したくて、道の駅のガイドツアーに参加しました。
- ・入り口の林からは想像もつかない驚きが、先に進むほどありました。
- ・歴史と自然のコラボガイドがとても役に立ちました。

【特に工夫した点】

- ・キッチンカーを呼ぶにあたって、事前に支障木を処理し業者に配慮した。
- ・公園ボランティア「どんぐり会」と協力し公園自然情報をより詳しく解説できた。
- ・クラフトコーナーでは、公園資源を利用し秋の公園の魅力を満喫していただいた。
- ・初めてパークレンジャーと「滝山城跡群・自然と歴史を守る会」のダブルガイドでの自然と歴史のガイドウォークも実施。歴史ファンに自然の解説が好評。



■桜まつり・歴史講演会・道の駅フェスなど充実の共催イベント



■地域の一大イベント「滝山城跡桜まつり」に、2,300人の人が訪れた。満開の桜の下、民謡、踊り、子どもたちによる空手舞演など多くの出し物が披露された。今年から指定管理者が共催に入ったため、一部園地の占用手続きがなくなり、都のイベントでは八王子の園地などを借りていたこととの不公平感が解消。関係者から評価された。

写真左：さくら祭りでの、多摩部の4公園の情報提供ブース。

写真右上：歴史講演会 下：道の駅フェス



2 遺構を見せる維持管理計画 個所数増で魅力アップ

■滝山城遺構の魅力をしっかり見せるため、歴史関係者からヒアリングし、草刈り等の計画を作成。八王子市文化財課、観光課などからも高い評価を得ている。



計画作成（上図は半期分）



ラジコン式草刈機で
急斜面も安全に作業



堀底に落ちた枯損木等処理
の様子



武田信玄を退けた伝説もある
二の丸の急峻な構造、威容が
明らかに

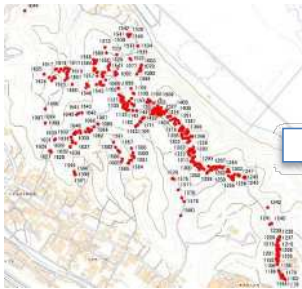
3 ・ナラ枯れを計画的に、安全に処理 ・境界部セットバック草刈り



生態系のヘルシー

■入念な調査結果から、伐採計画を作成。危険な園路、園地を閉鎖し、利用頻度の高いエリアから優先的に対処。安全で、効率よくナラ枯れに対処。

■地域への救急車両出入りも想定し、道路際をきれいにセットバック



GPS調査によりナラ枯れ
木を正確に位置出し



他の木に複雑にかかっている
場合などスパイダーリフト
により安全に伐採した。



発生材を粉碎



ラジコン式草刈機による境界部
セットバック

4 スポーツ＋環境教育＝忍者学校 滝山公園の魅力を活かす



身体のヘルシー

■ミズノスポーツサービスの人気プログラム「忍者学校」を、滝山城跡の遺構をたどりロールプレイゲーム感覚で修行を重ね本丸を目指す。仙人に扮したパークレンジャーが途中で動物の能力や、山城の構造も解説。全身で滝山城を遊びきる大人気プログラム。



丸太飛び修行。途中で敵
忍者が現れたら、変わり
身の術でタヌキになりす
ます。



手裏剣をよける修行。この
後ドッジボールで修行の成
果を活かす。



時々仙人に扮したパーク
レンジャーが現れ、動物
の能力を身に付ける術や、
城の秘密を教えてくれる。



最後は忍者免許皆伝を受け
証書とプレゼントの缶バッ
チをもらう、

その他の取組み

- ・エコロジカルネットワーク事業により、園内絶滅寸前だったアカマツの生育順調。希少種ハルゼミの生息域拡大に期待
- ・トイレ前のウエルカムプランターが好評
- ・老朽化したベンチ10か所を補修。座面交換

都立 大戸緑地



＜目標と取組方針（滝山公園マネジメントプランより）＞

- ・民間活力の導入により新たな魅力を持った都立公園
- ・安全・快適な公園づくりを行う都立公園
- ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
- ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
- ・自然と触れ合える場となる都立公園
- ・こどもたちの健やかな成長の場となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

自然体験・マイクロ
ツーリズム拠点

【所在地】町田市相原町

【開園面積】28.4ha

《自然体験・マイクロツーリズム拠点》豊かな生態系を活かした森林公園

森の魅力を活かした大戸緑地ならではの自然体験を多くの親子に！

1 「大戸緑地 春開きDAY」を3月に実施！地域団体との連携をより強め、里山の自然を楽しむプログラムの拡大を図った！

森の中での自然を活かしたプログラムで、自然体験の機会を提供！



■相原冒険遊びの会による大戸の竹を使った滑り台と園内の樹木を利用したブランコ！新たな連携によって、自然を活かしたプレーパークを展開！



■近隣施設「Nature Factory東京町田」と継続連携！拾った葉っぱに絵具を塗ってスタンプ！自然素材でオリジナルのエコバッグを作成！



■プレーパークと併せて自然素材を使ったクラフトも！

■市民団体ボランティアである「大戸源流森の会」による大戸の竹を用いた竹細工クラフト発生材を使用し、園内の資源活用も！



■ミズノスポーツコーディネーターによるエアロケットを投げる「ヘキサスロン」が子どもたちに大人気！

思い切り自然体験！多様な体験プログラムを展開し、里山の自然の中で楽しむ機会を提供！

2 日本や世界を周った植物写真家から公園やその周辺の植生を学ぶことのできる専門的な講座を初めて実施し高評価！

専門的な講義やフィールドワークで、より自然のことについて学びたいというニーズに応えた！



■初めにネイチャーファクトリー東京町田の工芸室で講義。同氏の日本・世界でみてきた植生をもとに独自の見解を交えながら植物の分布や人との関わりについて講義。



■ネイチャーファクトリー東京町田から大戸緑地へ向かう最中にも様々な植物を解説。参加者からの質問にも丁寧に回答し、感心する参加者の姿をみることができた。



■植物だけでなく、高尾山周辺で多く見られる小仏層などの地層からみる植生分布についても独自の見解で解説し、様々な視点からのフィールドワークで参加者の興味をさらに引き出す！

3

ボランティアと協力、密に連携をとり、美しい里山環境の維持・保全に貢献！

大戸源流森の会、学生ボランティア団体と連携して
園内の落ち葉はきを協働で実施
園内の資源循環を通してボランティアの交流を促進！



移植作業にも腐葉土を使用！

園内の苗圃にて実生から生育していた
苗木を草地広場の下段へ移植を実施



■落ち葉はきに慣れていない学生に対し、大戸源流森の会のメンバーが作業の方法やポイントなどを指導し、交流をしながら作業を実施
昨年集めた落ち葉がエコスタックで腐葉土になる資源循環についても解説
異なるボランティア団体を繋げ、協働で園内美化活動と資源活用を推進！

■植生管理計画に基づき、ボランティアが実生から生育していたエゴノキ、イタヤモミジ、ミズキの3本を広場へ移植
来園者の目が向くように景観も考慮し、新たな見所の創出へ！

地域性種苗を活かした里山の見所を創出！

4

里山環境を活かしたノルディック・ウォークを実施。園内の植物も紹介し、満足度向上！



■里山の自然豊かな環境の中で
ノルディック・ウォークを実施！



■大戸緑地のシンボルツリー「ユクノキ」紹介！その他にも「サイハイラン」などの園内の見頃である植物を途中で観察し、健康増進に加えて、大戸緑地の魅力も伝え、満足度向上に貢献！



5

大戸緑地とその周辺をめぐる周遊マップを作成し配布！大戸のマイクロツーリズムを推進！

初

■大戸周遊プロジェクトマップを作成し、大戸緑地とその周辺の魅力あるルートを紹介！
大戸緑地と高尾山の繋がりをアピールできたとともに、マイクロツーリズムを推進することができた！



6

木橋木部交換工事により
安心安全な施設の提供へ

before
腐食が進んだ木部交換を実施



after

- 床板にスリットを入れることで滑り止めの効果
- 加圧注入の防腐処理を施し施設の長寿命化に繋がった
- 5mの一枚板を使用することで接合部からの雨水の侵入を防ぐことで腐食がしづらい

その他の取組み

- ・近隣保育園の園外活動にて環境教育を実施
- ・地域の緑地活用イベント「ずしまちいち」に参加し大戸緑地の魅力をアピール
- ・大戸源流森の会の活動支援

7

地域のイベントへ出展して大戸緑地をアピール！
地域団体との連携をさらに強化！

大地沢自然交流フェスティバル

■様々な場所で出展し、大戸緑地の魅力を発信！
大戸緑地で見られる生きものの生体や剥製の展示、センサーカメラ動画の放映、パンフレットの配布、発生材を用いたお絵かきブースなどを展開し、大戸緑地の魅力を発信。
地域団体とも更なる連携強化に繋がった！